

夕刊 磐城時報

日四十
印刷所 磐城時報社
発行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十二字 五十五錢
日刊 日曜祝祭日 翌日休刊

平署員非常召集

豫期以上の好成績

内郷、湯本で捕賊演習

平署では十四日午前一時管内七十名の巡查に非常召集令状を發したが、午前三時迄に指定場所内郷村驛前線部長派出所に集合を終り直ちに三小隊に分け捕賊演習を開始した。

△想定

○この國の國交險惡化し空襲の虞あり。非常管制中敵國スパイの一味と覺しき者管内重要地帯を指して侵入せるやの情報ありし所、閉々當夜炭礦地帯三ヶ所(内郷村及湯本町)に焚火なし火焰を擧げ敵機に要地の所在を知らしむる行為を爲したる者あるを早くも特設防護團警護班に於て發見取調べんとしたるに逸早く逃走所在を晦した旨關係防護團より急報ありたり

△命令

事態容易ならざるを以て各部署の定めに就き防護團と緊密なる連絡の下に右不逞者の檢舉に最善の努力を拂ふべし
捜査上参考事項
1. 犯人と目すべき者は大体三名と思料せらる。
2. 内一名は年約三十歳前後身長五尺四寸位中肉の洋服外套を着しある如

きに努むること

羽賀特高主任、鈴木高等、菊地司法兩部長を擬賊に仕立てその指紋を眞に渡り演習に移つたが、羽賀氏は菊地氏は宮、鈴木氏は入山四坑で何れも午前五時迄に逮捕され好成績に演習を終了した。午前七時半第一校庭に於て八卷署長の點檢、講評、訓示があり、午前十時から谷口樓で慰勞の宴を張つた。演習について八卷署長は語る
「今回の演習は科學を基礎として犯人檢舉の演習を行つたが豫期以上の好成績をさめた。召集令状は從來と異なり駐在所からリレー式で傳達したため應召時間従来より遅れたが一名の欠席者もなかつた。犯人搜索にも監察官を設け、搜索上に指導を行ひ演習の効を豫期以上にさめた」

南京陥落を好機に

八百圓を献金

古河炭礦の献金

古河炭礦では南京陥落の萬心から感激してゐた同礦で歳の聲に呼應して軍用機金は十月以來職員は毎月俸給に納納運動へ八百圓の巨額をの百分の一から百分の三を邁進中であるが、同町に於て萬圓より少くも一割の増投したが、この献金は全山出し、又従業員は貴い勞銀ける水揚高は逐年増加の歩加を見込まれてゐるが、漁業千五百名の職員並に従業員の百分の一を献金してゐるをたどり本年は去る十一月獲物を分類すれば末日現在で百五十萬圓に達し其の後の取扱ひ高三十萬、刀魚十萬圓

慰問金に寄附

大國魂神社で

武運長久祈願

皇軍戦捷出征軍人武運長久の祈願祭を執行、参拜者に御箱札御守を贈る。

▲國防献金 市内七軒

▲從軍記章 平市左記

傷病兵士

平驛通過

南京攻略の犠牲

石城の二名散る

二百萬圓を突破した

小名濱の水揚高

市場の收入三萬圓

高久農産品評會

三村聯合農産品評會

鐵道ポナス

五萬圓あす支給

歳晚を控へホク

募集廣告

男女工數名

右至急募集す

委細面談

加納活版所

八方散

腫物の妙薬

水野藥局

平野一、電六九九

たので所長はこの機にこれに慰問品を贈つた。を獻金したものである。

▲慰問金に寄附 磐城村小野田炭礦古内銀治屋さんは銀治屋祭を廢止しその祭料五圓を皇軍慰問金に寄附した。

▲國防献金 市内七軒 町荒川祐さんは五圓を國防費として市役所へ寄附した。

▲從軍記章 平市左記 六名は昭和六年以降九年迄の事變に從軍記章を送られた。

傷病兵士 仲間町小松良平、堤の内稻葉清、六人町鈴木修平、下平窪江尻良平、大町田村國清、田町齋藤哲

平驛通過 鐵道關係のポナス五萬圓は十五日一齊にバラ撒かれる。本年は例年に比べ額が少くないとの評判であるがそれでも十六日には續き更に昇給の命令が来るから鐵道員は歳晚にホク々である。

南京攻略の犠牲 荷路夫村宇宿前武四郎勇助つてゐたものであつた。木康雄(二七)君は南京攻略の激戦で名譽の戦死を遂げ大野村玉山石井康太郎(二)君は南京の激戦で名譽の戦死を遂げた。

石城の二名散る 高久村農産品評會は十八日、十九日同村小學校に開くが、出品三百點。尚ほ十九日には男青年團總會を催す。

二百萬圓を突破した 石城郡田人、上遠野、入遠野三ヶ村農産品評會は此の程の開催に柴田郡農技手の審査長で選別擬賞されたが受賞者は左記の人々であつた。

小名濱の水揚高 △一等大根 小川昌身(入遠野)白菜 榑田喜重(上遠野)人蔘 大平直久(同)大根内山助一郎(田人)馬鈴薯 緑川久太(同)小豆酒井花男(入遠野)小麥平樂子之太郎(同)小麥金子萬光(上遠野)大

市場の收入三萬圓 馬鈴薯 榑田たみ(入遠野)外三十四名▽三等白菜平子正一(入遠野)外七十一名▽四等大根平子義久(入遠野)外百五十名▽兩の部一等小澤保太郎(入遠野)緑川真三(田人)平子直次郎(入遠野)高木つや(同)緑川喜一郎(田人)二等上遠野 藤二(入遠野)外九名▽三等小宅安藏(同)

高久農産品評會 鐵道ポナス 歳晚を控へホク

三村聯合農産品評會

鐵道ポナス 五萬圓あす支給

歳晚を控へホク

募集廣告

男女工數名

右至急募集す

委細面談

加納活版所

八方散

腫物の妙薬

水野藥局

平野一、電六九九

田人 外十七名▽四等面川政芳(入遠野)外二十五名▽眞綿の部一等小野直吉(上遠野)▽二等眞綿正記(入遠野)鈴木清三郎(同)▽三等下山田鶴松(上遠野)外二名▽四等平子

優勝印高級ソロバン
ピンコ帳簿
デリカ人名簿
代理店

文 魁文堂

ウエルリ 萬年筆
ムツリ 二ペン
ゼムラルカーボン紙
利一(入遠野)外四名▽木炭の部一等小澤徳之助(石住)鈴木敬二郎(同)折笠盛春(同)▽二等平子武(石住)外五名▽三等鈴木保太郎(石住)外十四名▽四等御所脇虎吉(貝泊)外三十二名▽炭俵の部二等芳賀つる▽三等二名、四等三名

鐵道ポナス 五萬圓あす支給

歳晚を控へホク

募集廣告

男女工數名

右至急募集す

委細面談

加納活版所

八方散

腫物の妙薬

水野藥局

平野一、電六九九

鐵道ポナス

五萬圓あす支給

歳晚を控へホク

募集廣告

男女工數名

右至急募集す

委細面談

加納活版所

八方散

腫物の妙薬

水野藥局

平野一、電六九九

鐵道ポナス

五萬圓あす支給

防寒洋品
お寒さの御用金に。時節の御禮答に。皇軍將士の慰問袋に。最も實惠的な防寒洋品を。品質本位の。中野洋品店 平野 53

☆各種清酒品評會成績
昭和六年以來全縣下最優等連續入賞
昭和八年以來東北六縣下最優等連續入賞
昭和九年全國最優等連續入賞

酒 錦
榮川
名譽賞受領

いよく東北第一の清酒となりました
何卒倍奮の御愛顧を御願ひいたします

醸造元 宮森榮四郎
若松市
特約店 永山酒店
電話二〇七番

◇互融會事業報告 十月中

融通口数 九三〇
融通金額 四三八〇〇〇
満期拂戻口数 八八〇
満期拂戻金額 四〇〇五〇〇

概況 昭和十二年十月末現在
世帯数 八、三三三
積立金 一、四、九四二、七七
融通金額 一、四、七三三、〇七
融通金回収高 六、三、四六、五〇
満期拂戻口数 四、二二〇
満期拂戻金額 一九、三三〇、〇〇

太平火災海上保險株式會社中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市播磨小路一番地
電話五五五番

小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 相双支部
植田町臺町 原町東一番町

干やなぎの御注文は
いか切込
ぜいひ **仙** 魚店へ!!!
御祝儀用鯉節
御進物用鯉節
特に体裁優美格安に勉強いたします
鯉鹽辛 もあります

九仙魚店
平市土橋(電話六六二番)

魚召すから
ヒニマル凍魚
鯛 マナ鯉 ワカサギ
エビ 甘鯛 帆立貝
白魚 カナヅメ うに貝焼

日本産手特約(電話三八三六番)
卸小賣 平製氷會社
〒印魚向屋
〒日五二八番

新鮮な冷凍具焼あります

開業廣告
齒科一般
平市田町(安濟醫院向)
齋藤醫院
東京齒科 醫學士 齋藤賢三

福島縣平市
鹽屋
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

開院廣告
平病院 電話六四二番
平市警察署側(元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏

內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
皮膚泌尿器科 部長 醫學士 池谷宗三郎
外科 部長 醫學博士 鈴木定藏
物理療法科 技師 岡田重徳
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平

◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
夜間診療ニ従事ス
往診隨時 (急患ハ此ノ限リニアラス入)
病室完備 入院隨時(自炊ノ便アリ)
入院料 一日 特等貳圓、一等壹圓五拾錢
二等壹圓參拾錢

平驛前
昭和タクシー
電話 三四〇番

特許新洗劑 漬けて十分間 揉みすに落ちる
モゲン
モノゲンは洗剤とは別物から
洗剤に比べて、洗剤の成分がアル
コールと云ふ洗剤から洗剤
されたもので、水に溶いても
中性で手肌を傷つけて生地を縮
める事なく、且又人肌やステ
ール器具も洗剤に揉ませ
に、白物は洗剤がすすぎ、すす
洗へ、其洗剤がすすぎ、すす
どんな生地で洗剤に洗
る新洗剤です。

電話一三〇〇
三五〇

社會式株藥製業工一第 總本館石ルーセルマンノケ

三五電・二平 店品洋野中 店約特

三百年の歴史を有する
家傳靈藥 **消食散**
馬相 **ハンサキ** 一名かけの藥
代理店 平市大町 丸龜商店
電話一三三番